

理事長挨拶:

本年初の「日本を護る会レポート」をお届けします。先年に引き続いて世界は益々不安定な状況を呈し、我が国周辺の状態にも緊迫の度が加わっています。このような中にあって2月には、当会の進むべき道として我が国の防衛に関する現状を再確認する意味で空自の現役第一線戦闘機パイロットを講師に招いて、我が国航空防衛の現状及び今後の動向について説明を受け、3月には我が国の近代化に絶大な貢献をされた渋沢栄一の史料館を訪ねて、改めて同氏の偉業に感銘を受けました。今後の活動としては世界の動向を広く理解するために引き続いて駐日外国大使を講師に招く事を検討中です。

また、当会事務局の充実も急務ですので、皆様の御協力を得たく考えます。「事務局からのお知らせ」を十分 理解して戴きたくお願いします

理事長 大橋 武郎

令和6年初詣 昇殿参拝

目時 : 令和6年1月13日 場所 : 東京大神宮

「日本を護る会」は例年恒例行事として東京都内の有名神社に昇殿参拝をしておりますが新年には東京大神宮

に昇殿参拝し会の発展と心願成就を祈願致しました。平成30年に続き2回目の参拝となります。ご案内の時にも書きましたが本大神宮は天照皇大神と豊受大神を祀った日本最高位の神社です。明治5年伊勢神宮の東京遥拝殿として建てられ(当時は日比谷大神宮)天照大神を始め伊勢神宮と共通のご祭神を祀っております。

さて参加者(18人)は令和6年1月13日(土)JR飯田橋駅で集合、そこからゆっくり歩いて無事(?)全員が東京大神宮に到着致しました。松の内は過ぎていたのですが境内は予想を超え大勢の参拝者で一杯、少しびっくり致しました。昇殿の時間迄少し間があ



り本殿脇の参集殿で待ち時間があったのですが、当大神宮は縁結びの神様でもありますからここでは一組の結婚 披露宴が行われておりました。幸多かれと祈ります。余談ながら神前結婚の様式はこの神社が始めたのだそうで す。 待合室も大勢の人でごった返し数組の他参拝グループと居合わせましたがそれほど待つこともなく昇殿し 会の発展を祈念し豊栄舞という奉納の舞を見て無事終了したのです。前回はその後お札とお神酒、確か一升瓶を



頂いたと記憶するのですが今回は1合瓶、参拝料は大きく値上がりしているのでダブルパンチ(?)・・・神様にせこい話は止めですね。その後の新年会迄少し時間があるので混雑する境内を散策し参道の前で全員集合、記念写真を撮って参拝は終了しました。

新年会はそこからゆっくり歩いて約15分飯田橋駅そばの高いビルの20階 「北海道」という居酒屋さんで行いました。

場所はゆ ったりと 広く眺め

も最高です。参加者16名、この人数を切ると人当たり単価が上がるので幹事はひやひやしておりましたが出入りは在ったものの最終的に16名、値上げをせずにすみました。お酒は飲み放題で料理もまあまあとご評価頂き午後3時楽しく終了いたしました。



第104回 定例会

演題: 「航空自衛隊現役パイロットに訊く」

講 師 :航空幕僚監部人事教育計画課教育室飛行教育班長一等空佐 野本 洋平 氏

日 時 : 令和6年2月10日 16時~ 於 : 銀座サロン・ド・ジュリエ

我が国防衛の最前線の任務で活躍している航空自衛隊の戦闘機のパイロットはどのように募集され、どのように選抜され、どのような訓練を受けて、どのような任務についているのか、さらに、現役パイロットが語る、空戦の技術や戦術、軍用機の進化やパイロットの心理等の興味深い事柄について講演をしていただきました



講師略歴

防衛大学校第43期 職種(飛行:F-15) 平成14年 第6航空団(石川県小松基地)

平成 21 年 幹部学校(指揮幕僚幹部課程)

平成22年 第6航空団 (石川県小松基地)

平成 23 年 統合幕僚監部 防衛計画部

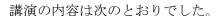
平成 25 年 航空幕僚監部運用支援・情報部

平成28年 第2航空団(北海道千歳基地)

平成 31 年 統合幕僚監部 防衛計画部

令和 3年 幹部学校航空研究センター

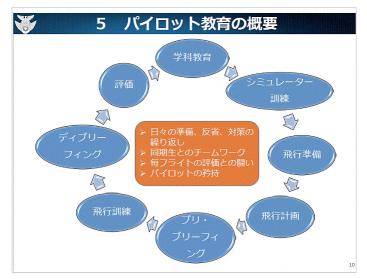
令和 3年 現職



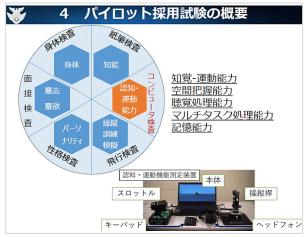












🥉 5 パイロット教育の概要

▶ 伊国委託教育 IFTS

- ✓ 空自の戦闘機操縦課程に該当
- ✓ 先進技術を採用した練習機及び教育器材により構成される教育システムを伊空軍と企業との協力により運用
- ✓ 2023年1月から空自学生操縦者の派遣を開始、同年12月に2名が修了
- ✓ F-35機種転換教育への効果・影響を注視

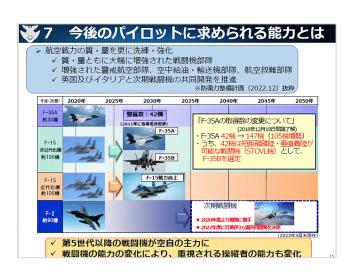


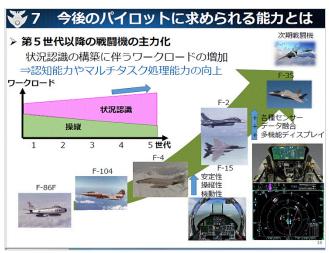




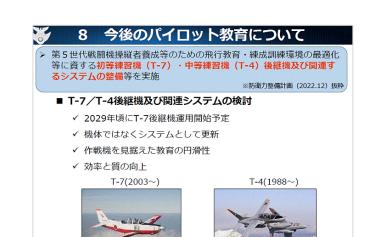
1













■ 生体データ、AI活用研究の推進

- ✓ 民間企業との協力により、各種生 体データ及びAIを活用した器材に よる訓練効果向上のための研究を 推進中
- ✓ 検証を通じ学生のスキル向上及び モチベーションへの効果を確認
- ✓ 資質と適性の見極めを精緻化
- ✓ 学生の特性に合った教育及び自己 学習の質向上







質疑応答













第41回 研修会

渋沢栄一の功績について

日時 : 令和6年3月23日 場所 : 渋沢栄一史料館



今回の研修会は、明治社会において新生日本の大功労者の渋沢栄一に関して、東京都北区飛鳥山公園に所在する渋沢栄一史料館を訪問した研修でした。2024年度に発行される新一万円札の肖像は渋沢栄一が古希を迎えるときに撮影された肖像を参考に描かれたものです。

飛鳥山公園は徳川吉宗が造園した公園で東京の桜の名 所ということで3月23日に狙いを定めたのですが、寒

の戻りのため一部を除いてほとんど咲いていませんでした。

日本の近代経済社会の礎を築くため多くの企業や社会公共事業を手掛けた栄一は、様々な場面において「顔」となり、自分の役割を果たしてきました。そうした栄一の姿は写真や、映像、絵画や彫刻などの作品で今もこの史料館で見ることが出来ました。渋沢栄一史料館のほか、



洋風茶室の晩香蘆(ばんこうろ)や青淵文庫(せいえんぶんこ:書庫)があり、史料館入館料で全て見ることができます。今回は13名の参加を得てそれぞれの施設の内容を熱心に研修されていました。

○栄一の思いに触れる。

史料館に残された渋沢栄一の映像、回想、関連資料から「日常」、「思い」、「言葉」にふれることが出来ました。 ○91年の人生をたどる。

渋沢栄一の91年の生涯を年齢ごとに展示ユニットで見ることが出来ました。生まれてから順に、あるいは

好きな年齢だけを見ることもできました。

○幅広い活動を知る。

渋沢栄一が携わった様々な事業や活動、多くの人々との交流を紹介しています。



↓研修会後の懇親会



事務局からのお知らせ

- * 当会が「認定 NPO 法人」としてより重要な組織として新たなスタートをしてから早 2 年半が経過をしました。社会的な責任が増すと同時にこれを維持発展させていくことが最重要課題です。その為に会員の増強、 安定した財務基盤が欠かせません。皆様の一層のご理解、ご協力をお願いします。
- * 事務局ではサポートをして頂ける方を探しています。<u>どんなことでもお手伝いが頂ければ大変助かります。</u> そのご意思がおありの方は是非事務局にご一報ください。

経理業務、またホームページ、フェイスブックの扱いなどが得意な方は大歓迎です。

今後の予定

第105回定例会

日時: 4月13日(土) 14時~ 場所;銀座サロン・ド・ジュリエ

演題:「駐豪大使の目から見た外交最前線と日本外交の課題」

講師:山上信吾 元駐オーストラリア大使

当会にご興味のある方の、お試し参加は大歓迎です。また、お友達などをお誘い合わせての、お試し参加は大歓迎です。当会は、いつでも入会いただく事ができます。詳しくは、事務局か当日会場受付にてお尋ねください。

年会費・寄付金のお振り込み先

ゆうちょ銀行

店番号 038 普通預金 記号10380 番号92589171 口座名義 トクヒ) ニホンヲマモルカイ (寄付金の場合は、「キフ ニホン ハナコ」等と必ず ご入力をお願いします。※当会への寄付金は税額控除になります。)

日本を護る会・レポート 第50号 令和6年3月発行編集発行: 認定特定非営利活動法人 日本を護る会ホームページ: http://awake-japan.sakura.ne.jp

E-mail : awake-japan@googlegroups.